

ホテルの設備や客室を4ヶ国語(日・英・中・韓)で案内する「客室コンシェルジュ」として活躍

H.I.S.ホテルホールディングス(株)運営の「変なホテル 関西空港」に 「RoBoHoN(ロボホン)」36体を納入



客室内のイメージ

●実際の設置場所とは異なります。

シャープは、H.I.S.ホテルホールディングス株式会社(本社：東京都新宿区、代表取締役社長：岩間雄二)が本年11月1日に開業する「変なホテル 関西空港」に、コミュニケーションロボット「RoBoHoN(ロボホン)」36体を納入します。

各部屋には、着座タイプの「RoBoHoN lite(ロボホンライト)」<SR-05M-Y>が設置され、ホテルの設備や客室について案内を行います。今回、ホテルの客室コンシェルジュとして採用された「ロボホン」としては、多言語案内機能を初めて搭載し、4ヶ国語(日・英・中・韓)でお客様へ様々な情報をご案内します。

また、シャープとH.I.S.ホテルホールディングスは、人手不足が深刻化するホテル業界において、サービスの質を維持しながら「ホテル案内業務の無人化」に向けた取り組みが加速することを目的に、業務提携を行います。第一弾として、今回納入する「ロボホン」を活用した新たな客室向けソリューションの創出を共同で検討するほか、H.I.S.ホールディングスの他施設への導入も順次推進してまいります。両社は今後も、ロボットだけでなくAIやICT技術の活用により、ホテル案内業務のさらなる効率化に取り組んでまいります。

■ 概要

納入機器	納入場所	数量	運用開始日
「RoBoHoN lite」 <SR-05M-Y>	変なホテル 関西空港 (大阪府泉佐野市りんくう往来北1番地の23)	36体	2019年11月1日